

北九州市スケタートライアル分析レポート(2025年2月～7月)

■トラクション分析

登録数、応募数、マッチング数ともに**全国で2番目に高い数字に。九州では最多。**



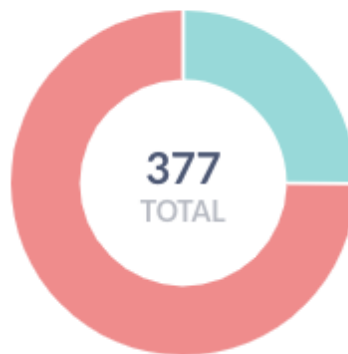
- ・10代～80代まで**幅広い世代が参加。**
- ・**20代以上の登録者数は全国で最多。**
- ・シニア層の参加も多く、**高齢者の社会参加促進(孤独孤立防止)に大きく寄与。**
- ・約8割が介護業界の未経験層。**介護人材の裾野拡大に大きく寄与。**



市区町村未経験者比率

● 経験者 24.9%

● 未経験者 75.1%



■採用実績

お手伝いの募集を出した 26 事業所中、2 事業所で**合計3名の介護職員採用に繋がった(半年間では過去最多)**。

■事業所の声まとめ

●主な参加理由(上位)

- ・業務負担軽減(職場環境改善)
- ・採用広報力(魅力発信)の強化
- ・地域住民(関心層)との接点構築
- ・利用者のQOL向上(サービスの質向上)

●実際にトライアルに参加してみて良かったこと(効果)。

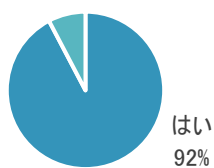
- ・業務負担軽減に繋がった(職場環境改善)
- ・事業所の魅力を発信してくれた(広報力向上)
- ・利用者の満足度向上に繋がった(QOL向上)
- ・生産性向上に繋がった(介護職の専門性発揮)

●9割の事業所が「様々な地域の人を手軽に呼ぶことができるツールと感じた」と回答。

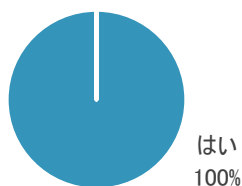
●全ての事業所が「スケッターが来てくれたことで、助かった(助けられた)と感じた」と回答。

●全ての事業所が「これからも地域の方との接点づくりをしたい」と回答。

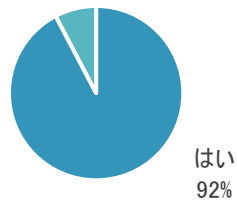
手軽に様々な地域の人を呼ぶことが出来るツールと感じましたか？



スケッターが来てくれた事で、助かった(助けられた)と感じましたか？



これからも地域の方との接点づくりをしたい



■スケッターによる事業所の魅力発信について

- 約8割の事業所が「スケッターに体験レポートを書いてもらえたことはメリットだと感じた」と回答。

<メリットに感じた主な理由(自由記述)>

- ・職員たちでは気付けない施設の魅力を客観的に見て(第三者視点で)発信してもらえた。
- ・職員のモチベーションが向上した。
- ・良い緊張感を持てる。

■スケッターの利用継続について

- ・募集を出した26事業所中、既に13事業所が全額自己負担でも継続。その他は検討中(費用負担が少なければ8割以上が「今後も継続したい」と回答)
- ・第二回トライアル参加の申込(新規申込)も募集開始1ヶ月で10か所以上あり。

<継続したい主な理由(自由記述)>

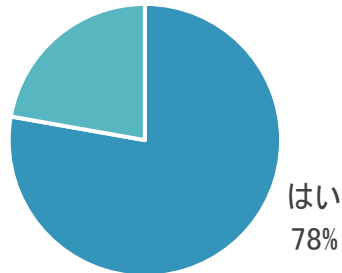
- ・地域に存在している社会貢献意欲のある人材にアプローチすることができる。
- ・職員の意識やモチベーションが向上するから。
- ・事業所や介護現場のことを地域に知ってもらいたいから
- ・客観的な評価を発信してくれるから。
- ・地域互助による業務負担軽減を図りたいから
- ・職員採用に繋げたいから
- ・社会貢献への熱意がある多くの地域住民と繋がる機会が増えるため。
- ・北九州市と提携をしている安心感があるから。
- ・プラスロボの担当者の方が事業所の課題に関しても適切にフォローしてくれるから。

- 「続けられない」と回答した理由の8割は費用面

- 全て事業所が「費用負担がなければ(少なければ)使いたい」と回答

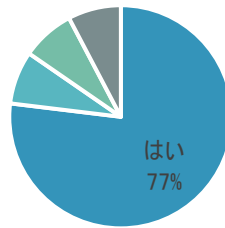
利用料の負担が無かったら(少なかったら)使いたいですか？

少なかったら使いたい
22%



●8割の事業所が「スケッター事業の取り組みに共感する」と回答。

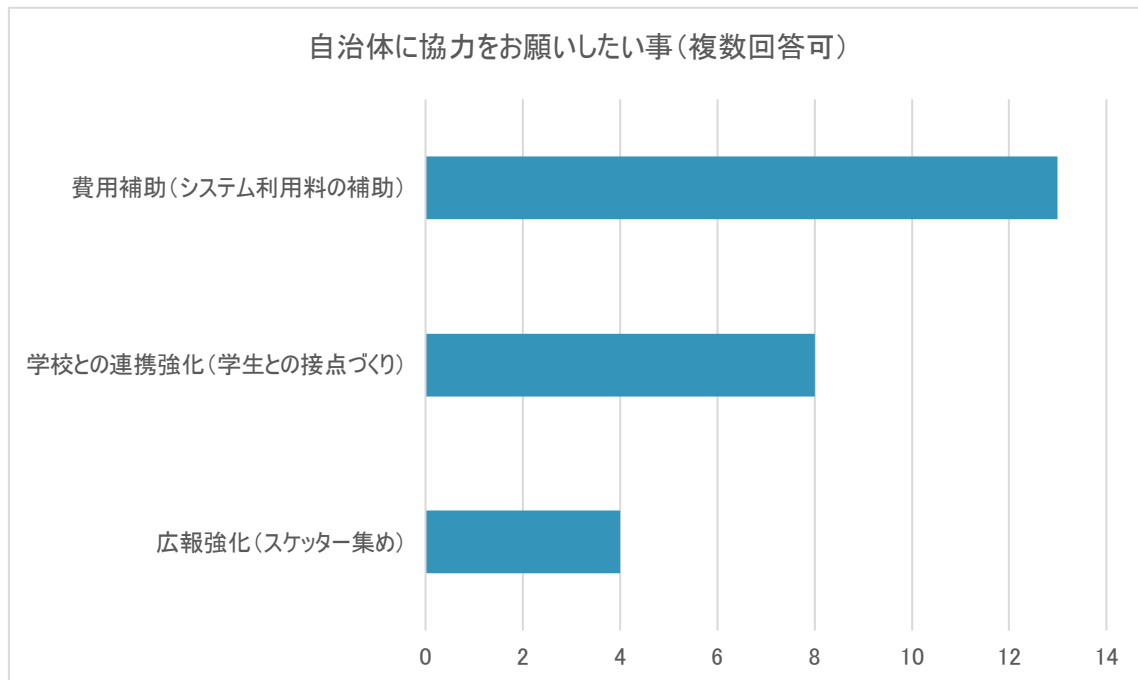
スケッター事業が実現したい事(地域住民全体で福祉業界を支える仕組み)に共感しますか？



＜スケッター事業の取り組みに共感する主な理由(自由記述)＞

- ・学生への積極的なアプローチのお陰で、学生へ福祉に興味を持ってもらうキッカケとなった。
- ・気軽に福祉のことに関われる魅力。認知症という方への理解。人材不足解消。
- ・福祉は特別な誰かが授受するものではなく「もっと気楽に日常に取り入れるもの」ということが体現されている部分に共感します。
- ・地域貢献したい方の熱意を有効に活用できる
- ・介護福祉と縁のない方が施設を知るキッカケになり、活動的に継続してくださっている。
- ・多数あるボランティア団体の窓口がひとまとめになるのがありがたい。

●事業所が自治体に協力をお願いしたい事(複数回答可)



●事業所が行政に伝えたい事(自由記述)

- ・行政から無償トライアル期間、一定の補助期間をいただけたことはとても良かったと思います。また、広報などもしていただき助かりました。今後ともご支援をよろしくお願い申し上げます。”
- ・資金補助があれば大変助かります！宜しくお願い致します。
- ・若者サポートステーションなどと協力して、引きこもりがちであったり、社会との接点を見つけないと思っている皆さんに繋がっていただきたい。
- ・市社協と連携して、市民センターにスケッター登録の仕方講習会などを開催していただきたい。地域のお元気澁刺な60代～70代が大勢いらっしゃる場であるし、一方でスマホ登録が苦手という意識の強い方が多いので。
- ・スケッターの仕組みは、介護現場に限らず、福祉・教育・地域コミュニティなど、人手不足や一時的な支援が必要とされる多様な分野に応用可能だと感じました。介護事業所に限定するのではなく、他分野の現場とも連携を広げることで、地域全体で支え合う仕組みがより強固になるのではと思います。行政としても、縦割りを超えて柔軟な活用を後押しいただけるとありがたいです。